



## Contents

- 表紙 ..... P1
- 事業管理者挨拶 ..... P2
- 職員の紹介 ..... P3
- 外来診療担当医表 ..... P4
- DMA T災害派遣・在宅医療サポートセンター ..... P5
- 各部署紹介 ..... P6
- 感染防止対策 ..... P7 ~ P8



# 事業管理者挨拶



阿蘇市病院事業管理者  
阿蘇医療センター 院長

甲 斐 豊

熊本県内では、最初の新型コロナウイルス感染症（コロナ）の感染が2月に確認され、4～5月にピークとなり、その後、夏場にかけて第二波が拡大し、秋口以降はやや波が上昇し、そして冬季を迎えました。

この間、阿蘇圏域内でも陽性患者が発生し、当院では継続的に患者さんを受入れることになり、感染症対策スタッフを中心に対応にあたってきております。感染の不安が常に伴う中で、全従業員に感染対策を念頭に置いた行動が定着してきました。管理部門の業務も、行政機関・関係会議体・関係医師会等との連携を基に得られた情報・知見に従って、新たな対策を頻回に講じるなど、感染症対策に軸足を置いたものとなりました。

陽性患者受入れ後、また発熱外来を開設して以降、診療部門では、時間内外を問わず一般症例と感染症例と並行した対応が必要となり、コロナに関する制約のあるなか病床運用を含めて変則的な診療体制で臨んできました。そして、このような状況下にも関わらず、多くの関係機関並びに諸先生方の通常時と変わらない診療支援のお陰があり、医療機能を維持することができております。誌面をお借りして感謝申し上げる次第です。

コロナは収束しないまま、国内では、今冬から来春にかけて季節性インフルエンザ（インフル）との同時流行が早くから懸念されてきました。患者さん側も、コロナ前はインフルを疑っての来院だったものが、当面はコロナ感染を恐れての受診の方が多くなり、医療側としても明確な診断が困難なケースが多発することも予測されます。

今年は阿蘇圏域にとって大きな変化もありました。8月のJR豊肥線の開通に次いで、10月には国道57号線北側復旧ルートと57号線現道が開通し、熊本と阿蘇の交通アクセスが飛躍的に改善しました。ただこれに伴って、観光地阿蘇への県内外からの人の流れも活発になり、コロナの感染リスクも高まることに配慮する必要があります。

こうした季節の変化や交通基盤の利便性向上による感染症例の増加に備えるため、当院では10月に発熱患者専用の診察室を建物外部に設置しました。抗ウイルスHEPAフィルター内蔵換気装置を備え、室内をクリーンな状態に保つことが可能です。診療・検査にあたる医師や関係スタッフの感染防止を図ると同時に、コロナやインフル以外で来院される方の感染防止を徹底していくこととしています。

第三波に向けて、随時提示される説得力のある新たな知見を基に感染対策を講じつつ、関係各機関との連携を更に深めて地域の医療需要に応えてまいります。

今後とも一層のご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

令和2年12月



# 職員の紹介

## 常勤医師



循環器内科医師 やまもと まさひろ 山本 正啓

### 資格

- 日本内科学会内科認定医
- 日本循環器学会循環器専門医
- 難病指定医

### 所属学会

- 日本心臓病学会
- 日本心不全学会
- 日本心臓リハビリテーション学会
- 日本補助人工心臓研究会
- 心エコー図学会
- 日本救急医学会
- 日本集中治療医学会

今年10月1日に赴任してまいりました循環器内科医師の山本正啓です。10月には国道57号線北側復旧ルートが開通し、利便性の向上とともに活性化してきた環境で仕事ができることを大変嬉しく思います。私の祖母が阿蘇出身で、小さいころは墓参りに毎年来ていたことを覚えています。鹿児島大学を卒業し、医師として熊本大学病院や福岡徳洲会病院、国立循環器病研究センター等で研修を行ってきました。専門は心不全や心臓超音波ですが、心臓カテーテル検査・治療や、内科・救急疾患全般にも精一杯取り組んでいきたいと思っております。少し寒がりです。少しづつこちらの気候にも慣れていきたいと思っております。精一杯頑張らせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 日本心不全学会 Young Investigator's Award 最優秀賞受賞

2020年10月に開催された「第24回日本心不全学会学術集会」において山本正啓先生がYoung Investigator's Award 最優秀賞を受賞されました

活性型の線維芽細胞に特異的に発現するタンパクに着目し、拡張型心筋症においてその血中濃度が将来の左室リモデリングと関連すること、心臓組織における線維化に促進的に作用することなどを明らかにしました。

## 看護師

ときまつ れな 時松 玲奈 [看護師]

7月から入職させていただきました。慣れるまでは不安なこともありましたが、わからないことなどを先輩方・上司にすぐ尋ねることができる環境をととてもありがたく感じています。患者さんに癒されることも多いです。

今後必要とされる人材になれるよう一生懸命頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

## くまもと復興応援ナースの紹介

熊本県と熊本県看護協会の連携による阿蘇地域の医療提供体制の支援を目的とした「くまもと復興応援ナース」事業により、10月から当院で看護師として勤務いただいております。

よしだ なつみ 吉田 奈都美 [看護師]



10月からお世話になっております。先日まで鹿児島で勤務しており、元々は熊本県出身なので久しぶりに熊本弁が聞けて嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

# 阿蘇医療センター外来診察担当医表 (令和2年10月1日現在)

## 一般外来

午前 受付時間 8:30～11:30 (診療時間 9:00～12:00)  
 午後 受付時間 13:00～16:30 (診療時間 14:00～17:00)

- 一部の専門外来を除いて午前中のみ診療。緊急時は救急外来で対応します。
- 当院は、予約診療（原則）です。電話予約の上の来院をお勧めいたします。

(一は休診)

診療科		月	火	水	木	金	土
内科	午前	湯本 信也 井上 大暉	下村 茉希	湯本 信也	井上 大暉	湯本 信也 下村 茉希	—
	午後	—	湯本 信也 (在宅酸素療法外来のみ)	—	—	—	—
脳神経外科	午前	甲斐 豊	甲斐 豊	—	甲斐 豊	甲斐 豊	—
循環器内科	午前	山本 正啓	山本 正啓	宮本 信三	田畑 範明 〔熊大病院循環器内科〕	宮本 信三	—
	午後	山本 正啓 (睡眠時無呼吸症候群外来のみ 14:00～16:00)	—	—	—	—	—
脳神経内科	午前	—	—	松原崇一朗 (第1・3・5) 野村 隼也 (第2・4) 〔熊大病院脳神経内科〕	—	—	—
	午後	—	—	松原崇一朗 (第1・3・5) 野村 隼也 (第2・4) 〔熊大病院脳神経内科〕	—	—	—
整形外科	午前	坂本 圭	坂本 圭	坂本 圭	湯上 正樹 〔熊大病院整形外科〕	—	—
	午後	—	—	—	湯上 正樹 〔熊大病院整形外科〕	—	—
消化器外科	午前	—	古閑 悠輝 近本 亮 (第2水曜の前日)	近本 亮 (第2水曜除く)	古閑 悠輝	—	—
リウマチ 膠原病内科	午前	—	—	中村 正 (第3水曜)	—	—	—
	午後	—	—	中村 正 (第3水曜)	—	—	—
乳腺 内分泌外科	午前	岩瀬 弘敬 (第2または第3月曜)	—	—	—	—	—
	午後	岩瀬 弘敬 (第2または第3月曜)	—	—	—	—	—
糖尿病・代謝 ・内分泌内科	午前	—	—	—	八木 喜崇	井形 元維	—
	午後	—	—	—	八木 喜崇	井形 元維	—
血液内科	午後	鈴島 仁 (第2月曜)	—	—	—	—	—
腫瘍内科	午前	—	—	—	境 健爾 (第3木曜)	—	—
消化器内科	午前	具嶋 亮介 (11:00～)	—	向坂 健祐 (11:00～)	—	榎原 哲史 (肝疾患)	—
	午後	具嶋 亮介 (~15:00)	—	向坂 健祐 (~15:00)	—	榎原 哲史 (肝疾患)	—
呼吸器内科	午前	—	坂田 晋也 (9:30～)	—	—	佐伯 祥	—
腎臓内科	午後	—	—	—	—	西口 佳彦 (第1金曜) 深水 大天 (第3金曜) (14:00～15:00)	—
耳鼻咽喉科	午前	—	—	—	熊大病院担当医	—	—
歯科口腔外科	午前	—	高宗 康隆 ※2	—	—	高宗 康隆 ※2	—
	午後	—	高宗 康隆 ※2	—	—	高宗 康隆 ※2	—
小児科 専門外来	午前	—	—	上土井 貴子 ※3 (第2・4水曜)	永田 裕子 (第3木曜) 岩井 正憲 (偶第2木曜) 鎌田 直美 (奇第2木曜)	—	—
	午後	—	—	上土井 貴子 ※3 (第2・4水曜)	永田 裕子 (第3木曜) 岩井 正憲 (偶第2木曜) 鎌田 直美 (奇第2木曜)	—	—
人工透析	午前	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也	湯本 信也 (第2・4・5土曜) 西口 佳彦 (第1金曜) 深水 大天 (第3金曜) 〔熊大病院〕	湯本 信也 (第2・4・5土曜) 小野 真 (第1土曜) 丸山 功祐 (第3土曜) 〔熊大病院〕

※1…受付時間 13:00～15:30 (診療時間 14:00～16:00)

※2…予約制です。また、紹介状 (かかりつけの歯科医院等から発行していただく。) をお持ちでない患者さんは受診できません。

※3…原則、小学生までの受入れ。ただし、紹介状が有る場合は中学生までの受入れ。

総合診療	午前	下村 茉希	楠本 周平	井上 大暉	松本 久	松本 久
	午後	—	—	—	松本 久	—

※ご来院時に患者さんの症状に対応できる診療科の診療が行われていない場合にご案内致します。

## 小児外来

[月・水・木・金]

午前 受付時間 8:30～11:30 (診療時間 9:00～12:00)  
 午後 受付時間 13:00～18:00 (診療時間 14:00～18:15)

[火]

午前 受付時間 8:30～11:30 (診療時間 9:00～12:00)  
 午後 受付時間 13:00～16:30 (診療時間 14:00～17:00)

診療科		月	火	水	木	金
小児科	午前	橋山 元浩	榎村 哲生 〔熊大病院小児科〕	橋山 元浩	橋山 元浩 (第2・3除く)	橋山 元浩
	午後	橋山 元浩	榎村 哲生 〔熊大病院小児科〕	橋山 元浩	橋山 元浩 (第2・3除く)	橋山 元浩

令和2年7月九州豪雨災害

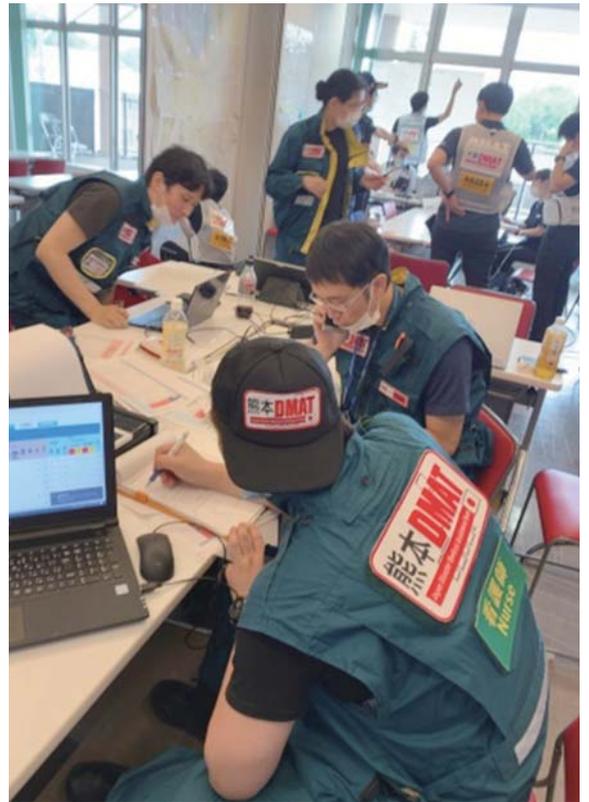
# 阿蘇医療センターDMAT支援活動

『令和2年7月九州豪雨』により特に熊本県南部に甚大な被害が発生しました。被災地の早期の完全な復旧・復興を願うばかりです。

被災地の医療支援のため、当院からもDMAT（医師：木村優一、看護師：津留尚徳、診療放射線技師：岩本貴史）を7月7日（火）～9日（木）まで人吉地域に派遣しました。

現地では、人吉医療センター内に設置された人吉球磨医療圏保健医療調整本部の指示のもとで、1日目は老健施設の一次サーベイ、2・3日目は人吉地域の病院・老健施設のサーベイ及び避難所のスクリーニングの支援を行いました。また、7月14日（火）・15日（水）の2日間は、熊本県庁に設置された熊本県保健医療調整本部の活動に当院の災害医療コーディネーター1名が参加しました。

近年、局地的な災害も含めた大規模な自然災害が、毎年のように全国各地で発生しています。当院においても今回の経験を活かし、地域災害拠点病院として更に機能の充実、強化に取り組んでまいります。



## 在宅医療サポートセンター

### ■在宅医療に関する相談窓口

当院の阿蘇中部地域在宅医療サポートセンターでは、院内の地域医療連携部と協力しながら以下のような相談に対応しております。

- ケアマネジャーや訪問看護に係わるサービス提供者からの相談対応・情報提供・環境整備など
- 医療依存度が高い患者さんの在宅医療の準備など
- 在宅療養における、食事相談・介護負担・受診困難など

また、地域の医療・介護関係者向けの入退院支援に関する研修会や、終末期医療に関する講演会などを企画していきます。研修内容等のご希望がございましたら、下記連絡先までご相談ください。

### ■「介護職員等 喀痰吸引・経管栄養等研修」受講希望者募集のお知らせ

阿蘇中部地域在宅医療サポートセンターでは、阿蘇地域の施設や訪問介護の業務に従事される介護職員を対象として、下記研修の受講希望者を募集いたします。

- 募集内容**
- ① 喀痰吸引・経管栄養など、医療的ケアに関する講習会
  - ② 介護職員による熊本県喀痰吸引等研修（基本研修）受講
  - ③ 介護施設等での感染防止対策について（防護具の使用など）
- ※ いずれも、受講希望者確定後、日程調整を行います



連絡先

阿蘇中部地域在宅医療サポートセンター  
阿蘇医療センター在宅医療相談員 山角（やまかく）  
☎ 0967-34-0311（代表） yamakaku-t@aso-mc.jp

# 各部署紹介

## 看護部 緩和ケアチーム看護師

令和2年4月に、当院は熊本県指定がん診療連携拠点病院に指定されました。指定に先がけて緩和ケアチームが発足し、同チームは、医師、歯科医師、看護師、がん相談員、薬剤師、管理栄養士、地域医療連携担当者、リハビリテーションスタッフで構成し活動しております。

がんなど重篤な疾患と診断されたときから、患者さん・ご家族は経験したことのないような問題・課題に直面することがあります。それは、身体的・心理的・社会的・精神的な苦痛となって様々な形で現れることとなります。

緩和ケアは、異なる専門性や役割をもつ医療関係者がチームとなって、患者さんの「からだ」と「こころ」を支え守るために最善策を講じていくことだと理解しております。

緩和ケアを必要とする患者さんが、治療開始期から終期までその人らしく暮らしていけるように、家族の意向を含めて、それぞれのプロセスにおいての意思決定をサポートしていきます。

まだまだ経験も浅く試行錯誤の部分もありますが、県内のがん診療連携拠点病院の方々とも連携し指導をいただきながら取り組んでまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

看護師：後藤 美由紀

看護師：田中 まゆみ

## 臨床工学室

臨床工学室では院内の医療機器を集中管理しており、機器の貸出し・返却時の保守点検や定期的な機器の精度点検を行っているほか、医療スタッフ向けの勉強会の実施やマニュアルの作成・更新を行い、安全な医療が提供できるように取り組んでいます。

当院は現在4名の臨床工学技士で業務を行っております。臨床的な主な業務は、透析室の血液浄化、ペースメーカー立会い、心臓カテーテル治療支援等で、循環器内科関連業務は24時間の支援体制をとっています。

また、特徴的な取組みとして、植込みデバイス遠隔モニタリングを実施しています。最新の植込み型のペースメーカーや除細動器等の植込みデバイスでは、患者さんの家に設置した中継機器で、収集したデータを専用サーバに送信しその情報が医療機関で閲覧できます。この情報に電池残量、心不全、不整脈等が含まれており、異常の早期発見、治療の早期介入が可能となっています。



点検用機器



ME室内の様子

## リハビリテーション室

令和2年4月1日から整形外科の常勤医師として坂本圭医師に勤務いただき、当院のリハビリテーション室でも肩関節腱板断裂や股関節手術等の症例に関してリハビリテーションの指示件数が増加しました。毎週行われるカンファレンスでは様々な症例に関する指導をもとに、スタッフ一同でリハビリテーションアプローチに取り組んでおります。



また今年度は、同じく熊本大学病院整形外科から湯上正樹医師にも非常勤医師として診療支援をいただいております。足部疾患の領域に関して、特に小・中学生の扁平足等の疾患について指示件数が増加しております。これに関して下肢体幹全体に係るリハビリテーションアプローチについての指導をいただいております。



# 感染防止対策

## ■ 新型コロナウイルス感染症への対応：感染管理認定看護師 柿本 純子

熊本県で新型コロナウイルス感染症の最初の陽性患者が確認されたのは本年2月でした。

その後、国内の傾向と同様に、4～5月にピークがあり、夏から秋口にかけては第二波が到来し、そして、インフルエンザ流行期の冬季に入りました。

今春以降、新型コロナに関する膨大な量の様々な通知・周知文書等や関係資料が相次いで提供され、その内容も時々刻々と変わり、そのつど医療現場の対応も少しずつ変化してきました。

阿蘇圏域でも4月に陽性患者が発生して以後、継続的に患者を受け入れてきておりますが、当初は提供される情報を基に手探りの状態で、対策・処置の結果がイメージできないまま向き合うほかありませんでした。それでも感染対策の基本と、より精度の高い知見・手法を拠り所に、▷病床運用 ▷患者受入れと管理 ▷対応スタッフ編成 ▷時間外オンコール体制 ▷院内ゾーニング設定 ▷防護具等の確保 ▷消毒殺菌の実施 ▷検査体制 ▷面会制限 ▷発熱外来 ▷感染症スタッフの一時宿泊と検査実施等々、様々な段階での要領を立案し実行してきました。ただ、新たな知見や技術に関する理論上の理解と実行面での相違があることも経験しました。当院では感染症対策BCPの策定を計画しておりますが、これまでの経験と今後更に信頼できる情報と現場での実行評価をふまえて、より良い内容のものを作成したいと思っております。

10月に、インフルエンザ流行期に備えて発熱外来患者の専用検査室を設置しました。

## ■ 発熱外来患者の専用検査室を設置

冬季のインフルエンザ流行期に備えて建物外部（救急外来前）に発熱外来患者用の専用検査室を設置しました。本施設はウイルス感染が疑われる患者に対応する検査室で、抗ウイルスHEPAフィルターを内蔵しており、ウイルスの外部流出を防ぎ室内をクリーンな状態に保つ構造となっております。

同検査室の診療案内については、下記のとおりです。



### ■ 発熱外来専用検査室の診療案内

〔診療時間〕 午後2時～午後3時

〔受診要領〕

- ①完全予約制です《電話：0967-34-0311(代表)》
- ②予約した時間に専用検査室付近の駐車場に駐車
- ③0967-34-0311(代表)に電話(到着したことを伝える)
- ④車内で待機
- ⑤診療・検査を実施
- ⑥検査結果により、その後の診察方法が異なります。

※医師の指示に従ってください。

# 感染防止対策のお知らせ

## 病院への立入りについて

当院への立入りについては、全ての方を対象に体温測定を行っております。

ご来院、入院患者さんへの面会に際しましては、多大なご迷惑をおかけしておりますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

また、患者さんへの面会は令和2年3月以降禁止とし、物品の受渡し等は職員が対応しておりますので、ご了承のほどよろしくお願いいたします。

## オンラインでの面会について

当院では、感染防止対策による面会制限が長期化していることから、通信機器(タブレット)を利用した「オンライン面会」を実施しております。

オンライン面会は完全予約制としております。要領は以下のとおりです。

- 利用日時 ■月曜日～金曜日（平日のみ） 午後2時～午後3時
- 面会時間 ■5分まで
- 予約方法 ■面会希望日の前日までに予約センター（☎0967-34-0319）に申込み願います。
- 面会方法 ■個室において通信機器（タブレット）を介して面談していただきます。



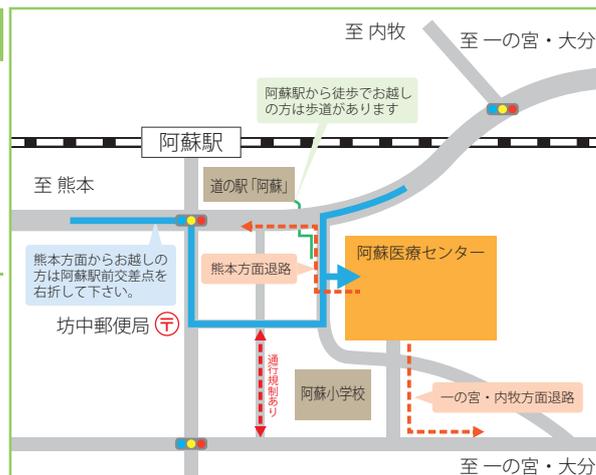
### 診療予約・変更・お問い合わせ

外来予約センターにお電話頂き予約や変更等についてお問い合わせください。

外来予約センター ▶ **0967-34-0319**  
(平日… 8:30～17:15)

その他、診療や連携に関する各種お問い合わせや、相談は地域医療連携室へご連絡ください。

地域医療連携室 ▶ **0967-34-0463**



阿蘇医療センター広報誌15号

令和2年12月発行



## 阿蘇医療センター

〒869-2225 熊本県阿蘇市黒川1266  
TEL 0967-34-0311 (代表) FAX 0967-34-2273  
<http://www.aso-mc.jp>



スマートホン等にてバーコード読み取りでホームページ閲覧ができます

